

□主な内容

【第 9 回 EST 交通環境大賞の結果を公表！】

EST普及推進委員会は、第 9 回 EST 交通環境大賞の各賞を決定しました。2 月 20 日に開催される第 11 回 EST 普及推進フォーラムにおいて授賞団体を表彰します。

http://www.estfukyu.jp/kotsukankyotaisho2017_02.html

【EST 関連セミナーを開催！】

- 第 36 回 EST 創発セミナー in 宇部〔中国〕【2018/1/31】

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu53.html>

- 第 37 回 EST 創発セミナー in 和歌山〔近畿〕【2018/2/17】

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu55.html>

- 第 11 回 EST 普及推進フォーラム【2018/2/20】

<http://www.estfukyu.jp/forum11.html>

- 第 16 回 地域バス交通活性化セミナー【2018/2/23】

http://www.ecomo.or.jp/environment/bus/16th_seminar.html

目次

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 138 回)

- 「近未来における自動運転×MaaSのモビリティサービス」

【名古屋大学 未来社会創造機構 近未来型交通システム研究部門

特任准教授 中村俊之】

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 138 回)

- 「持続可能な“楽しい”低炭素なまちづくり」

【電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会】

3. ニュース／トピック

- 第 9 回 EST交通環境大賞の結果について【EST 普及推進委員会、エコモ財団】

● 平成 29 年度「モーダルシフト等推進事業費補助金」(二次公募)の認定及び交付決定について【国土交通省】

- 「鉄道・バス・タクシー」の横断的な「輸送動向調査」の結果について【中部運輸局】

● 桃山地域においてコミュニティタクシー「ももやま号」の運行を開始しました【宇部市】

- 里モビ(山里向け超小型モビリティ)の出発式が行われました【豊田市】

● 熊本の EV バス「よかエコバス」への技術協力について【日産自動車株式会社】

- 遊休車両を有効活用した乗合送迎サービスの実証実験について【富士通株式会社】

4. イベント情報

- 第 36 回 EST 創発セミナーin 宇部〔中国〕「みんなで愉しむ 宇部市の公共交通」
【2018/1/31】
- 第 37 回 EST 創発セミナーin 和歌山〔近畿〕【2018/2/17】
- 第 11 回 EST 普及推進フォーラム「地方から始まる新たな交通政策を考える」
【2018/2/20】
- 第 16 回 地域バス交通活性化セミナー「女性の活躍が公共交通の未来をきりひらく」
【2018/2/23】
- 2018 冬 公共交通フォーラム「横浜郊外部における移動の足を考える」【2018/1/27】
- ITS セミナー in 鳥取【2018/1/29】
- フォーラム「交通政策基本法の展開」(第 16 回)【2018/2/13】
- 平成 29 年度 九州運輸局自動車事故防止セミナー【2018/2/13】
- 低炭素杯 2018【2018/2/15】
- 地域公共交通活性化セミナーin 長野【2018/2/23】
- 第 25 回 ITS 世界会議コペンハーゲン 2018【2018/9/17-21】

5. その他

- EST パートナースHIP会員制度に参加する団体を募集しています！
- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！
- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！
- 記事募集中！

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 138 回)

●「近未来における自動運転×MaaS のモビリティサービス」

【名古屋大学 未来社会創造機構 近未来型交通システム研究部門

特任准教授 中村俊之】

自動運転や EV 自動車を巡る情報やニュースは新聞記事や雑誌、学術誌、インターネット上で毎日のように目にしているモビリティを巡るホットトピックである。そうした中で、TRB Annual Meeting や ITS 世界会議等の国際学会・会議での取り組みや研究事例の紹介、日本でも藤垣らによる「大都市圏向け統合モビリティサービス Metro-MaaS の提案と需要評価(都市計画学会 52 巻 (2017) 3 号 p833-840)」論文が報告されるなど、「MaaS」を巡る議論も盛んになってきている。

『MaaS(Mobility-as-a-service、サービスとしてのモビリティ)』の総称であり、モビリティを“サービス”としてワンストップで提供するプラットフォームである。2016 年 6 月から、「MaaS Global」社がヘルシンキでサービスを展開する「Whim」が有名であるが、このアプリケーションでは、目的地検索するだけで公共交通機関(地下鉄、バス、トラム)とライドシェア、タクシー(ポイントで利用)、レンタカーレンタサイクル等の組み合わせから最適移動手段を提案、その中から選択することで自動的に支払いまで完了する。運賃を月額制で支払うことができる。月額を支払いは 89€、249€、389€(約 1 万 700 円、約 3 万円、約 4 万 6 千円)の 3 種類で、それに利用ごとにポイントが引かれる課金の仕組み。旅行者や短期利用者のためにその都度支払う方法も存在し日常的な移動でも利用可能である。

MaaS Global は、各交通事業者のとりまとめる役割を担っており、消費者(利用者)にはポイントを販売し、そこから手数料と利益分を除き、交通費の実費を各交通事業者に支払う。MaaS Global では自らは資産を持たず、人の移動(モビリティ)を円滑にする立場に徹し、拠点を広げる計画であり、最終的には、住民が自動車を保有せずに移動できる環境を提供することで、自然環境を保護し、渋滞緩和を目指すとしている。

こうしたサービスに対して、自動車メーカーもすばやく反応している。例えばトヨタ自動車では 2018 年 1 月 9 日から 1 月 12 日まで米国ラスベガスで開催された世界最大の家電見本市「CES 2018」にて、モビリティサービス(MaaS)専用次世代電気自動車(EV)「e-パレット コンセプト」を初公開している。車両サイズもフレキシブルで 4~7 メートルの 3 種類があり、フラットかつ広大な空間には、ライドシェアリング仕様、ホテル仕様、リテールショップ仕様など、用途に応じた設備の搭載により、移動、物流、物販など多目的に活用、さまざまなサービスに対応し、人々の暮らしを支える「新たなモビリティ」と謳っている。e-パレットというコンセプトをもった自動車を示し、MaaS を印象づけている。この e-パレットは自動運転にも、マニュアル運転にも対応するとしている。

自動運転×MaaS という掛け合わせにより、近未来のモビリティ、さらにはモビリティサービスがどのように展開されるのか、また、日本にどのようなサービスシステムとしてインプリメンテーションを満ちし導入されていくのかを今後も関心を寄せたいと思う。

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 138 回)

●「持続可能な“楽しい”低炭素なまちづくり」

【電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会】

当協議会は平成 24 年 8 月、電気自動車等の環境に優しい次世代自動車を普及する目的で発足し、これまで伊勢市内の観光地を電気自動車等で巡る周遊マップの作成やスタンプラリー、モニターツアー、レンタル事業、社用車の導入促進、充電施設設置指針の作成、公募による充電施設ピクトグラム・協議会のシンボルマークの作成、市役所・観光施設・商業施設等における充電施設の整備等様々な活動を行ってきました。

最近の取組としては、平成 26 年に導入した国内初の国産大型電気バスが、平成 29 年春、デザインを一新、外装だけでなく内装にも電気タイプのポケモンがたくさん描かれ、ますます賑やかに“楽しい”デザインとなりました。伊勢神宮の外宮・内宮間の運行を主として、イベントでの展示・試乗会等も行い、多くの市民や観光客、参拝者に親しまれ、低炭素社会の見える化のシンボリックな存在として活躍しています。

次世代の低炭素社会の担い手を育む活動については、協議会に参画している三重交通株式会社によるポケモン電気バスの紹介・試乗会と横浜ゴム株式会社による植樹体験を組み合わせた環境学習を実施しました。会員同士の取組を結びつけ、多角的な方面から環境について学ぶことで、より印象に残る効果的な活動となりました。

また、環境に関心の低い人でも興味を持ってもらえるよう、地元ミュージシャンや自動車メーカーの協力のもと、電気自動車の電源のみを使用したライブ演奏を行いました。演奏により場が明るくなり、集客効果もあり、司会の MC を通じて多くの人に啓発することができました。演奏者に対しても電気自動車の給電機能を体験してもらう良い機会になり、同時に、演奏者のニーズに合う“楽しい”活用事例にもなりました。

世界的な電気自動車シフトが加速する中、電気自動車の技術も向上、その短所も改善されつつあります。伊勢市が「世界一持続可能な低炭素のまち」になる為、これからも様々な方と協力・連携しながら、長く持続できる“楽しい”活動を模索していきたいと思えます。もし、この記事を読んでいただいた方の中にオススメな“楽しい”活動をご存知の方がいましたら、ぜひ、事務局の伊勢市環境課までご連絡、ご教授いただくと幸いです。よろしくお願いいたします。

3. ニュース／トピック

●第9回 EST交通環境大賞の結果について【EST 普及推進委員会、エコモ財団】

EST 普及推進委員会は、「第9回 EST 交通環境大賞」(主催:EST 普及推進委員会、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団、後援:国土交通省、警察庁、環境省、一般社団法人日本自動車工業会、公益社団法人日本バス協会、一般社団法人日本民営鉄道協会)の各賞を決定し、公表しました。

http://www.estfukyu.jp/kotsukankyotaisho2017_02.html

●平成29年度「モーダルシフト等推進事業費補助金」(二次公募)の認定及び交付決定について【国土交通省】

国土交通省では、総合効率化計画の策定やモーダルシフト等の取組みを支援する「モーダルシフト等推進事業費補助金」について二次募集を行い、1件を認定及び交付決定したことを発表しました。

http://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000368.html

●「鉄道・バス・タクシー」の横断的な「輸送動向調査」の結果について【中部運輸局】

中部運輸局では、地域公共交通の担い手の経営環境などを把握すべく、「輸送動向調査」を今年度初めて実施し、結果概要を公表しました。

<http://www.tb.mlit.go.jp/chubu/press/pdf/kousei20171226.pdf>

●桃山地域においてコミュニティタクシー「ももやま号」の運行を開始しました【宇部市】

宇部市桃山地域では、高齢者や移動手段を持たない交通弱者を支援するため、地域が主体となって運営する桃山地域コミュニティタクシー運営協議会を立ち上げ、平成30年1月5日(金曜日)から新川、鶉の島の2ルートでコミュニティタクシーの実証運行を開始しました。

http://www.city.ube.yamaguchi.jp/houdou/sougou_seisaku/h29/documents/tirashi.pdf

●里モビ(山里向け超小型モビリティ)の出発式が行われました【豊田市】

豊田市は、名古屋大学・東京大学などと共働で、「高齢者が年齢、地域、個人差なく生き生きと生活し活動できる、持続可能な高齢社会の実現」を目指す「あすけあいプロジェクト」に取り組んでいます。「里モビ」は、同プロジェクトの活動の一つとして、中山間地域での高齢者の日常移動のために、地域住民が主体となって超小型モビリティの改造や活用を行う「里モビサークル」活動によって誕生しました。

<http://www.city.toyota.aichi.jp/topics/1022503/1022681.html>

●熊本のEVバス「よかエコバス」への技術協力について【日産自動車株式会社】

日産自動車株式会社は、熊本大学をはじめとする産学官の共同プロジェクトから生まれ、本年2月から熊本市内で実証実験走行を始めるEVバス「よかエコバス」に、EVの開発に関する技術協力を実施しました。

<https://newsroom.nissan-global.com/releases/release-3a765441692fe07de20b3f02e705bbdb-180119-02-j?lang=ja-JP>

●遊休車両を有効活用した乗合送迎サービスの実証実験について【富士通株式会社】

福島県伊達市と富士通株式会社は、富士通が提供する位置情報を活用したクラウドサービスを活用した、乗合送迎サービスの実証実験を2018年2月から3月まで実施します。

<http://pr.fujitsu.com/jp/news/2018/01/17.html>

4. イベント情報

- 第 36 回 EST 創発セミナー in 宇部〔中国〕「みんなで愉しむ 宇部市の公共交通」
日時:2018 年 1 月 31 日(水)13:30~16:45
場所:宇部市文化会館「文化ホール」
主催:中国運輸局、宇部市、EST 普及推進委員会、エコモ財団
<http://www.estfukyu.jp/sohatsu53.html>

- 第 37 回 EST 創発セミナー in 和歌山〔近畿〕
日時:2018 年 2 月 17 日(土)13:30~16:45
場所:男女共生推進センター6 階「ホール」
主催:国土交通省近畿運輸局、EST 普及推進委員会、エコモ財団
<http://www.estfukyu.jp/sohatsu55.html>

- 第 11 回 EST 普及推進フォーラム「地方から始まる新たな交通政策を考える」
日時:2018 年 2 月 20 日(火)13:30~17:10
場所:ルポール麴町2階「ロイヤルクリスタル」
主催:EST 普及推進委員会、エコモ財団
<http://www.estfukyu.jp/forum11.html>

- 第 16 回 地域バス交通活性化セミナー「女性の活躍が公共交通の未来をきりひらく」
日時:2018 年 2 月 23 日(金)
場所:メルパルク長野 3 階「白鳳」
主催:北陸信越運輸局、エコモ財団
http://www.ecomo.or.jp/environment/bus/16th_seminar.html

- 2018 冬 公共交通フォーラム「横浜郊外部における移動の足を考える」
日時:2018 年 1 月 27 日(土)
場所:横浜みなと博物館 訓練センター 第 1 教室
主催:横浜の公共交通活性化をめざす会
<http://lrt.cocolog-nifty.com/yokohama/files/2018.pdf>

- ITS セミナー in 鳥取
日時:2018 年 1 月 29 日(月)
場所:鳥取商工会議所
主催:東京大学生産技術研究所 次世代モビリティ研究センター
<http://www.its.iis.u-tokyo.ac.jp/seminar/201801-tottori.pdf>

- フォーラム「交通政策基本法の展開」(第 16 回)
日時:2018 年 2 月 13 日(火)
場所:中央大学駿河台記念館 570 教室
主催:人と環境にやさしい交通をめざす協議会
http://www.estfukyu.jp/pdf/EST_mailmagazine_vol.138_2.pdf

- 平成 29 年度 九州運輸局自動車事故防止セミナー
日時:2018 年 2 月 13 日(火)
場所:南近代ビル 2 階会議室
主催:九州運輸局
<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press-20180112-hoankankyoka.pdf>

- 低炭素杯 2018
日時:2018 年 2 月 15 日(木)
場所:日経ホール
主催:低炭素杯実行委員会
<https://www.zenkoku-net.org/teitansohai/>

- 地域公共交通活性化セミナー in 長野
日時:2018 年 2 月 23 日(金)
場所:メルパルク長野 3 階「白鳳」
主催:国土交通省北陸信越運輸局
<http://www.tb.mlit.go.jp/hokushin/press/1704-1803/kousei/300118press.pdf>

- 第 25 回 ITS 世界会議コペンハーゲン 2018
日時:2018 年 9 月 17 日(月)~21 日(金)
場所:Bella Center
主催:コペンハーゲン市
http://www.its-jp.org/katsudou2014/tabid_100/copenhagen-2018/

5. その他

- EST パートナシップ会員制度に参加する団体を募集しています！
2013年7月16日から募集を開始し、37団体が参加しています。
会員サイトトップページで、交通と環境に関するニュースをリアルタイムで掲載しています。
http://www.estfukyu.jp/partnership_gaiyo.html

- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！
<https://twitter.com/officeEST>

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
<http://www.green-m.jp/>

- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
<http://www.ecomo.or.jp/environment/eco-commuter/index.html>

- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
配信申込はこちらから
<http://www.mm-education.jp:80/magazine.html>

- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！
http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/carbonoffset_system.html

- 記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。

EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: magazine@ecomor.jp (担当: 熊井)

発行: 環境的に持続可能な交通 (EST) 普及推進委員会事務局
(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

https://p.blayn.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo

EST ポータルサイト: <http://www.estfukyu.jp/>